

令和4年度
(2022年度)

水のつながりプロジェクト

今年度も、大和平野と水源地域の子どもたちがそれぞれの地域を訪ねて体験や見学を行い、交流しました。
お互いに水でのつながりを実感し、感謝の気持ちをもって地域について学ぶ機会となりました。

参加いただいた学校

川上村立川上小学校

源流体験……………4年生 4人
田植え・稲刈り体験……5年生 6人



檀原市立香久山小学校

源流体験……………4年生 14人
田植え・稲刈り体験……5年生 18人

体験指導：^{みどり}水土里の会（檀原市田中町）の農家のみなさま

田植え体験 6/17

香久山小学校と川上小学校の児童が水土里の会の方の指導をうけて、お互いに協力して水田に稲の苗を植えました。苗が倒れないようにグッと押し込んだ時の田んぼの柔らかさ、歩きにくい足元、児童たちは全身で田んぼを感じることができました。

田植えの後、田んぼの近くにある用水路を流れる吉野川分水で、泥だらけになった手足を洗いました。



稲刈り体験 10/25

今年も児童が植え、水土里の会のみなさんに育てていただいた稲を収穫しました。指でつまんで植えた苗が、刈りいれ後は肩に担いで運ばないといけないほどに成長しました。

田植えをした時は隙間だらけの水田でしたが、稲刈りの時には田んぼ一面が稲に覆われている様子に児童たちは感動していました。刈り取った稲はこの後天日で乾燥し、脱穀と精米を経て児童のもとへ届けられます。



おかげ米贈呈



児童達が植え、水土里の会のみなさまが丹精込めて育ててくれたおかげ米が、それぞれの教室に届けられました。自分達が植えた細かった苗が、ズシとした実りになったことに感動するとともに、お米の重みから水土里の会のみなさまのお世話のおかげを感じることができました。



4月

・種まき ・畦塗り
・田起こし

5月

・入水 ・代掻き
・田植え

6月

・草刈り ・害虫対策
・水管理

7月

・施肥 ・中干

8月

・害虫対策 ・水管理

9月

・台風対策 ・落水

10月

・稲刈り ・乾燥
・脱穀

11月

・精米 ・出荷



吉野川分水の管理

吉野川分水が利用される水田は、洪水を軽減する効果を持っているほか、利用された水が河川や地下水へと返ることで、地下水を豊かにし、大和平野の河川の水量増加と水質改善や地域用水に役立ち、用水路ネットワークは水遊びの場、潤いのある景観や防災用水に役立てられます。これらの役割を守るために、大和平野土地改良区は水路の維持管理を行っています。



源流トレッキング 8/5

吉野川分水の流域より、一般公募で20名の参加をいただきました。吉野川分水の水源地である大迫ダムの見学では、普段は入ることのできないキャットウォークを歩きました。

水源地の森はあいにくの雨となりましたが、この雨が吉野川分水を通して、大和平野を潤す水になる事を伝える良い機会になりました。



源流体験 11/25

台風の影響で、日程が延期になりましたが、両校児童は事前にオンラインでつながり、出会うことを楽しみにしていたため、延期した時間も加味され出会えた時の喜びは大きなものでした。両校で合同の班をつくり、川上村白屋での自然観察オリエンテーリング、吉野川分水の水を貯める大迫ダムの見学を実施しました。すっかり仲良くなった児童たちは、別れの時間をいつまでも名残り惜しんでいました。

